

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合事象が対象になりません。

平成23年3月3日に不適合管理委員会で審議された不適合事象は、下記のとおりです。

## 1. GIグレード 0件

## 2. GIIグレード 1件

NO.	号機等	不適合事象	原子炉安全上の影響度合い
1	3号機	制御棒駆動系機能検査中に制御棒(185体中の1体)が全挿入位置から引き抜けないことを確認した。検査は中断し、点検実施。	GIII以下

## 3. GIIIグレード 9件

NO.	号機等	不適合事象	備考
1	1号機	低起動変圧器1SA用冷却ファンNo. 6(6台中の1台)が過負荷により停止した。冷却機能に問題のないことは確認。 当該ファンを点検・修理。	
2	2号機	【中越沖地震関連】主タービン部品の目視点検において、油切り(下半)調整ボルトに曲がりを確認した。 当該ボルトを交換。	
3	2号機	タービン補機冷却水系熱交換器(C)の冷却管に、海水等の影響による減肉を確認した。 当該冷却管に閉止栓プラグ取付。	
4	2号機	取水口除塵装置洗浄ポンプ(A)吐出配管継ぎ手部内面防蝕処理(ゴムライニング)に剥がれを確認した。 当該ライニングを修理。	
5	3号機	タービン補機冷却系熱交換器(C)の海水系ストレーナードレン弁にシートリークを確認(推定)した。 当該弁を点検・修理。	
6	3号機	タービン補機冷却水系熱交換器(C)水室ドレン配管に詰まりを確認した。 当該配管を定検・修理。	
7	4号機	管理区域内で使用した物品(ビニールホース)の搬出において、搬出基準の4Bq/cm <sup>2</sup> に対し、5.6Bq/cm <sup>2</sup> であることを確認した。測定エリアおよび搬出作業員の汚染なしを確認し、当該物品は養生して管理区域内留置。分析により天然核種であることを確認。	
8	6号機	可燃性ガス濃度制御系ブロワ室扉の開閉ができなくなり、非常用ハンドルを用いて開閉可能となった。 調査実施。	
9	その他	荒浜側補助ボイラー重油側給水ポンプ(B)の軸封装置(グランドパッキン)の機能低下(パッキン押さえナットの締め代なし)を確認した。 当該軸封装置を修理。	